

5月2日[土] 2020年 サントリーホール
14:00開演 13:30開場

田部京子—ピアノ

飯森範親—指揮

東京交響楽団—管弦楽

〈プログラム〉

ピアノ協奏曲 ニ長調 op.61a

(ヴァイオリン協奏曲のベートーヴェン自身による編曲版)

ピアノ協奏曲 第5番

変ホ長調 op.73「皇帝」

田部京子
が弾く!
ベートーヴェン
2大コンチェルト

ピアノ協奏曲

[op.61a] [皇帝]

Tabe Kyoko

全席指定 S席: 6,500円 A席: 5,500円 B席: 4,500円 P席: 3,500円(税込)

- サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (オペレーター/休館日を除く10:00~18:00)
- ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター対応 10:00~18:00) (Lコード: 33338) <http://l-tike.com/>
- チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 172-556) <http://pia.jp/>
- イープラス <http://eplus.jp>

※都合により内容が変更となる場合がございます。予めご了承ください。※未就学児の入場不可。

主催: MIYAZAWA & Co. 協力: スタインウェイ・ジャパン株式会社

(お問い合わせ) サンライズプロモーション東京 0570-00-3337 (平日12:00~18:00)

Kyoko Tabé

pianist
田部 京子



黄金期 「傑作の森」に生まれた 二大協奏曲

長年、ベートーヴェン唯一の「ヴァイオリン協奏曲」を、(へもしもヴァイオリンが弾けたなら...)という叶わぬ夢と、強い憧れをもって愛聴してきました。今回、このヴァイオリン協奏曲の作曲者自身による編曲版「ピアノ協奏曲「長調 op.91a」を演奏することは、積年の願いが叶う、この上ない喜びです。ヴァイオリン協奏曲には存在しない、長大で斬新なカデンツァを始め、編曲の域を超え「一つの完成したピアノ協奏曲」として創作

東京芸術大学附属高校在学中、17歳で日本音楽コンクール優勝。ベルリン芸術大学に学び、エピナール国際ピアノコンクール、シュナーベル・コンクールにて第1位、ミュンヘン国際音楽コンクール(ARD)第3位など受賞多数。バイエルン放送響、バンベルク響、モスクワ・フィルほかと共演するなど世界のトップアーティストから共演者に指名され厚い信頼を寄せられている。CDは30枚以上をリリース、その多くが国内外で特選盤に選出。「ます&シューマン：ピアノ五重奏曲」(共演：カルミナ四重奏団)がレコード・アカデミー賞を受賞するほか、「ブラームス：後期ピアノ作品集」、「モーツァルト：ピアノ協奏曲第20番二短調、第21番八長調」がレコード芸術誌(リーダーズ・チョイス2012)器楽部門第1位、協奏曲部門第2位に、「ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第30、31、32番」も(ベストディスク2015)(同誌)に選出。

2003年にスタートし大成功を収めているリサイタルシリーズ(浜離宮朝日ホール)は、シューベルト、シューマン、ベートーヴェン、ブラームスなどのシリーズに続き、2016年からスタートした「シューベルト・プラス」シリーズが好評を博している。NHKドラマ「夏目漱石の妻」の挿入曲「シューベルト：ピアノ・ソナタ第21番」の演奏でも話題を呼んだ。CDデビュー25周年を迎えた2018年は、新譜リリースに加え、東京芸術劇場で一夜にモーツァルトとグリーグ2曲のピアノ協奏曲を演奏したほか、全国各地でリサイタルを行った。

第一線で演奏活動を続ける傍ら、桐朋学園大学院大学教授を務める。現在、日本を代表する実力派ピアニストとしてますます人気を集めている。

オフィシャルHP: www.kyoko-tabé.com



オフィシャル・ホームページ: <http://imori-norichika.com/>



公式サイト: <http://tokyosymphony.jp/>

指揮 飯森範親 Imori Norichika

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送響、ケルン放送響、チェコ・フィル、モスクワ放送響等に客演。01年、ドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督(GMD)に着任し、日本ツアーも成功に導いた。国内では94年以來、東京交響楽団と密接な関係を持ち、現在は正指揮者。06年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞、07年より山形交響楽団音楽監督、2019年シーズンより同楽団芸術総監督に就任。2014年シーズンより日本センチュリー交響楽団首席指揮者。2020年1月より東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者に就任。

東京交響楽団 Tokyo Symphony Orchestra

1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。現代音楽の初演などにより、文部大臣賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞等を受賞。サントリーホール、ミュゼ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティで主催公演を行うほか、川崎市、新潟市、八王子市などの行政と提携し、コンサートやアウトリーチを積極的に展開している。また、新国立劇場のレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。海外公演も多く、これまでに58都市で78公演を行ってきた。音楽監督にジョナサン・ノット、正指揮者に飯森範親、桂冠指揮者に秋山和慶、ユベール・スダーン、名誉客演指揮者に大友直人を擁する。

に臨んだベートーヴェンの並々ならぬ想い入れが伝わる、まさに隠れた傑作です。そして、ピアノ協奏曲の王者「皇帝」は、これまでさまざまなステージで演奏を重ねてきました。湧き上がる生命力と、緩徐楽章の天国的な美しさをたたえたこの名曲を、ベートーヴェン生誕250周年のひとときに、飯森マエストロ、東京交響楽団とともに演奏出来ることを大変楽しみにしています。

田部京子



世界のトップアーティストに
選ばれるスタインウェイ

スタインウェイ&サンズ 東京

Tel.03-3450-7270
www.steinway.co.jp/SST